

VERY 2025年秋号 + NEWS

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1 嶋病院長の「市民講座」
後期高齢者の医療費 | 2 診療実績
患者相談窓口のご案内 |
| 3 新入職医師の紹介
マイナ救急制度
消防総合訓練 | 4 たばこの害とタバコ病
関節鏡のご紹介 |



令和7年8月23日(土)アステホールにて市民健康講座『足の痛みをあきらめない～外反母趾と扁平足を正しく知ろう～』が開催されました。(※)
当院院長の嶋による講演に、約200名の方が参加され、約1時間の講演と30分の質疑応答が行われました。
特に、質疑応答では、参加された方の質問が止まず終了後も質問の列が出来る盛況でした。
外反母趾や扁平足でお悩みの方は、当院『足・足関節疾患センター』で対応しております。
診察時間は水～金曜日の午前で事前予約制となっています。
ご予約は月～金曜日9時～17時、土曜日9時～12時30分で、072-793-8011で承っております。
※(共催)ジンマー・バイオメット合同会社、よみうりカルチャー大阪(後援)読売新聞大阪本社

◆ 後期高齢者の医療費の窓口負担割合について

令和4年10月1日より、後期高齢者の方が医療機関等の窓口で支払う医療費の自己負担割合が、1割/2割/3割の3区分となりました。一定以上所得のある方は、現役世代並みの所得者を除いて、自己負担割合が2割となり、また、医療費負担を緩和する配慮措置が今年9月30日に終了しました。
見直しの背景には、少子高齢化が進展し75歳以上の方が増加し、医療費の増大に対応するために、現役世代の負担上昇を抑え、子ども・子育て支援の拡充や、予防・健康づくりの強化等を通じ、全ての世代が公平に支え合う「全世代対応型の社会保障制度」を構築することを目的としています。
※高額療養費制度により、「外来の自己負担の上限額は月18,000円(年間144,000円)まで」は今後も継続されます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

- | | | |
|---|--|--|
| 窓口負担割合が2割の方
・①、②に両方該当する方
・詳細は各自治体にお問い合わせ下さい。 | ①同じ世帯の被保険者の中に住民税課税所得が28万円以上145万円未満の方がいる。 | ②同じ世帯の被保険者の年金収入+その他の合計所得金額
・被保険者が1人 200万以上
・被保険者が2人 320万以上 |
|---|--|--|

◆ 診療実績 2021～2024年

新規入院患者
 2024年…3,779人
 2023年…3,335人
 2022年…3,429人
 2021年…3,297人

入院延べ患者数
 2024年…56,989人
 2023年…50,076人
 2022年…49,241人
 2021年…48,082人

1日平均入院患者数
 2024年…155人
 2023年…137人
 2022年…134人
 2021年…131人

外来延べ患者数
 2024年…56,790人
 2023年…54,969人
 2022年…55,180人
 2021年…53,121人

1日平均外来患者数
 2024年…193人
 2023年…188人
 2022年…188人
 2021年…181人

救急搬送件数
 2024年…4,254件
 2023年…3,707件
 2022年…3,469件
 2021年…3,318件

2021～2024年の当院の入院・外来実績一覧です。

当院では近隣の診療所や施設と連携をとり積極的に患者を受け入れております。コロナ禍が収束したあとは、新規入院・外来患者さまともに増加傾向にあり、救急搬送件数も地域の医療環境の変化もあり年々増加しています。当院は近隣の診療所や施設との連携強化を図り、引き続き安全で安心な医療の提供に尽力してまいります。

◆ 患者相談窓口のご紹介

当院では、安心して受診・療養をしていただくため、患者さまやご家族さまのあらゆる相談・ご意見をお伺いする患者相談窓口を病院1Fに設置しております。お困りごと、お気づきのことがありましたらお気軽にお立ち寄りください。ご相談内容に応じて、医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・管理栄養士等が連携して支援いたします。患者さま、ご家族さまがご相談されたことにより不利益を受けることはありません。ご相談内容につきましては、秘密を厳守いたします。

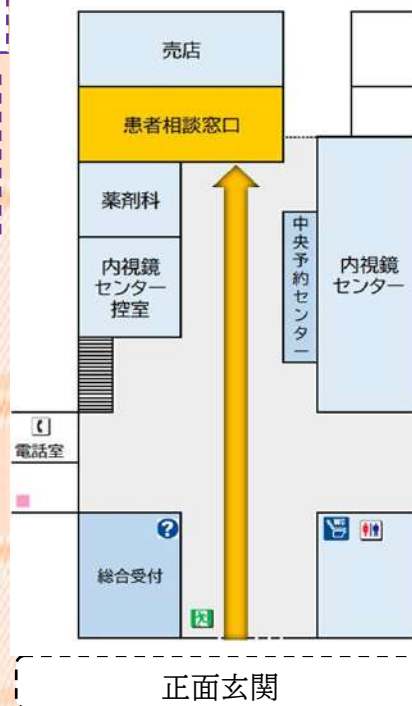
相談室利用方法 1F患者相談窓口

相談窓口受付時間

月～金 午前9時～午後4時30分
 土曜日 午前9時～午前11時30分

相談内容

治療や検査内容で相談
 退院後の生活や治療の相談
 転院や施設への入所の相談
 医療・福祉サービスの案内
 医療に関する悩みや心配ごと
 医療費の支払いなど経済的なこと
 介護保険の利用や手続き等



◆ 新入職医師の紹介

令和7年9月より新たにベリタス病院に入職された医師の紹介です。



芝田 豊通 先生

放射線科

2025年9月からベリタス病院の放射線科で働くことになりました、芝田 豊通です。これまで京都や大阪、兵庫の病院で勤務してまいりました。ベリタス病院では、CTやMRI、胸部レントゲン写真などの画像診断を担当させていただきます。画像の読影を通じて院内の他の診療科や近隣の医療機関の診療への後方支援に尽力して参ります。

患者さまとは直接お会いする機会は少ない分野ではありますが、よろしくお願いいたします。

◆ 消防総合訓練

2025年11月12日に消防署のご協力のもと消防総合訓練を実施しました。

職員が患者役になり、正しい避難誘導・搬送や初期消火の重要性、周りへの伝達、避難完了まで実践的な訓練を行いました。終了後には、現役の消防隊員の方からの講評・反省会を開催し、多くの職員が聞き入っていました。これからも、消防訓練や、BLS研修などを通じて、職員の防災・救命意識の向上をはかってまいります。



◆ マイナ救急について

マイナ救急は、令和4年度から実証事業を行い、今年10月1日に全国720ある全ての消防本部、計5,334隊の救急隊(常時運用救急隊の98%)で一斉に開始されました。

マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、受診歴・薬剤・手術・診療情報(各5年分)、特定健診の情報(5回分)、過去の電子処方箋情報(100日分)の情報を利用して、搬送先医療機関の選定など、救急業務の円滑化を目指します。

※傷病者が意識不明で同意取得が困難な場合、同意なしに医療情報を閲覧することがあります。)

※マイナンバーカードの取得、マイナ保険証の登録が必須

メリット

- A. 救急隊への受診歴・薬剤情報の説明など、傷病者の説明の負担が軽減
- B. 付き添いの家族などが、傷病者の正確な情報を把握していなくても伝達が可能
- C. 救急隊が正確に傷病者の医療情報を確認でき、円滑な搬送先医療機関の選定や処置が可能
- D. 事前に情報を搬送先に伝えることでより適切な受入れ準備が可能

政府広報オンライン「命を守るマイナ保険証の新しい活用法」より加工して掲載
URL:<https://www.gov-online.go.jp/article/202508/entry-8648.html>

ベリタス病院 基本理念 ●基本方針

- | | | |
|------------|-----------------------------|--------------------------|
| 真心のこもった | 1. 安全で安心な医療を提供します | 4. 全職員が誇りをもって働ける環境をつくります |
| 良質な医療を通して | 2. 優秀な医療技術の向上に努めチーム医療を推進します | |
| 地域社会に貢献します | 3. 快適な医療環境を提供します | 5. 安定した経営を維持し地域と職員に還元します |

◆ タバコの害とタバコ病について

タバコ病とは、喫煙により発病リスクが高まったり重症化しやすくなる病気の総称です。肺がんでだけでなく、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、咽頭がん、口腔がん、食道がん、胃がん、膵臓がん、膀胱がん、歯周病など多岐にわたります。

特に喫煙はCOPDの最大の原因であり、肺の構造(中枢気道、末梢気道、肺胞)に炎症と破壊を引き起こします。COPDは進行性の労作時呼吸困難や慢性の咳・痰を特徴とし、増悪(症状の悪化)を繰り返すことで呼吸機能が低下します。

タバコの煙(主流煙)には合計約5,300種類もの成分が含まれ、そのうち約70種類に発がん性があるとされています。主な有害物質はニコチン、タール等で、**喫煙指数(プリンクマン指数=1日の喫煙本数×喫煙年数)**が400以上で肺がんのリスクが、700以上でCOPDや咽頭がん、肺がんのリスクが数十倍に上昇すると報告されています(女性はより低い値で危険)。

喫煙者は非喫煙者と比べて寿命が約10年短く、障害をもって過ごす期間が長くなることが示されています。日本では年間約13万人が喫煙原因で死亡しています。

～禁煙の効果～

禁煙は性別・年齢・喫煙による病気の有無を問わず、すべての人々に大きくかつ迅速な健康改善をもたらします。

- 禁煙後数時間で、血中の酸素の度が向上し、24時間たつと心臓発作の危険性が下がります。
- 数週間から数か月で循環器の機能が改善し、1年後には肺機能の改善も見られるようになります。
- 禁煙後10年から15年で、非喫煙者に近い数字までタバコ病のリスクが低減するといわれています。

タバコは百害あって一利なし。

健康寿命を延ばすためにも禁煙に努めましょう！ ベリタス病院副院長 辻本 充

タバコ病をはじめとする、心血管疾患については、今年出版されました辻本先生の著書「はい、次の患者さんどうぞ」でわかりやすく解説しています。皆さまの健康管理、健康意識を高めて頂ければ幸いです。



◆ 新しい関節鏡を導入しました



当院ではこの度、スミス・アンド・ネフュー社の新しい関節鏡を導入いたしました。関節鏡とは、関節の中を直接観察したり、治療したりするための医療器具です。細い鉛筆ほどの太さの棒状の器具で、先端には小型のカメラ(内視鏡)と照明がついています。

胃カメラや大腸カメラと同様の器具ですが、曲がった長い箇所を進む必要がないので、より短く固い素材でできています。

関節鏡は、皮膚に穴をあけてそこから関節内に差し込むことで、レントゲンだけでは分からない関節内の軟骨の損傷や靭帯の断裂状況や炎症の状態などを直接確認することができます。

また関節鏡を差し込む穴とは別の穴から専用の手術器具を差し込むことで病変部分の切除や縫合などの手術を行うことができます。穴をあけるだけで手術ができることから傷口が小さく済むため、外見上も目立たず、痛みや術後の回復期間が短くなることが期待できます。

膝や足の変形性関節症、半月板や靭帯の損傷などの治療において効果を発揮します。



医療法人晋真会ベリタス病院

〒666-0125 川西市新田1丁目2番23号
TEL: (072) 793-7890 FAX: (072) 792-5771